

アライアンス・フォーラム財団主催

第3期公益資本主義研修

～真の経営者を育てる～

募集要項

会社は株主のものであり、会社の目的は株主価値を増大させることである。このような誤った考え方が日本に浸透しつつあります。企業統治が株主価値の最大化のみを目指すならば、そのような企業は顧客、取引先、従業員ひいては社会との共栄は不可能です。

一方で顧客、従業員、取引先との信頼を育み価値を創造して行く公益資本主義は、日本に根差す価値観に合致するものと言えます。

当研修では一流の経営者の公益資本主義の理念に基づいた経営理念とその実践を学び、日本のあるべき企業経営理念について考える機会を提供します。

研修を通して受講者一人一人が、これからのあるべき経営理念について考え、行動していくことを目指します。

真の企業の経営者に必要な視点

— 公益資本主義 —

最近15年(2000年以降)加速が目立つ市場、金融、資本のグローバル化の動きに伴い、日本企業にいわゆる「経営のグローバル化」を迫る動きが目立ってきました。しかし、多くの場合それは企業の統治改革に名を借りた、株主利益偏重の経営を求めるものです。会社は株主のものと考え、株主の短期的な利益のみを追い求める経営は、長期的な投資をおろそかにし、企業価値を損なう結果となります。

一方で日本には近江商人の「三方よし」に代表される優れた経営理念があります。顧客、従業員、取引先との信頼を育み、価値を創造する公益資本主義の理念に基づいた経営は、多くの企業に成功をもたらしています。日本企業は「経営のグローバル化」の奔流に流されるのではなく、自らの理念に沿って経営を変革し、それを海外にも広める努力が必要です。そのためには企業は今までより一段と深い知見や洞察力を身に着けた人材が必要となります。

公益資本主義研修はそのような人材を育む目的で2014年より開催しています。研修では、すでに公益資本主義を体現されている本物の経営者のお話を伺い、対話を通して学びを深めます。「事業がグローバル化する中での日本的経営とは何か」、「何が日本的経営の根幹の価値なのか」、「会社または自分自身は何ができるか、何をすべきなのか」。受講生は、12人の講師の皆さんとの内省的な対話を通して、これらの問いに対する答えを見出していきます。自己を見つめ、目指すべき真の経営者像について真剣に考える機会を提供いたします。

講義のテーマはイノベーション、ベンチャー、海外での事業経営、途上国でのソーシャルビジネスなど多岐にわたります。いずれも公益資本主義の理念を理解し、その理念を経営に反映しさらには海外に展開することを狙っています。

研修の概要

- 対象: 企業の将来の経営を担う人材
- 期間: 6ヶ月
- 開始時期: 2016年6月11日(土)
- 場所: 品川フロントビル3階
(株)ネクスト本社
- 定員: 30名
- 受講料: ¥648,000
- 開講日: 隔週水曜日 18:00-21:00
6月11日のオリエンテーションの後、第1回は6月15日(水)
その後は10月20日(木)を除き隔週の水曜日
7月16日(土)17日(日)は合宿、11月18日(金)は修了式
- 形式: 講演とQ&A(1.5hr)、ワークショップ(1.5hr):12回
合宿(1泊2日)
- 研修参加者には9/16(17:00)-9/18(16:00)に静岡県三島で開催されるAFG会議に優先申し込みできます。研修受講者は一般参加費は¥155,000のところ、特典価格(¥100,000税込)で参加いただけます。AFG会議の申し込みは研修開始後に案内します。

No	日付	講師	テーマ	狙い
0	6月11日 (土曜日) 13:00-18:00	熊平美香氏、神永 晋氏、 加藤 洋氏	オリエンテーション	公益資本主義の概要を学び、研修の目的や期待されるアウトプットについて理解する。 終了後の交流会を行い受講者の親睦を計る。
1	6月15日	三井不動産㈱ 取締役専務執行役員 北原 義一氏	会社は何のために存在 するのか	「会社は何のためにあるのか」 その存在理由に立ち返り、 企業活動について語る
2	6月29日	住友精密工業㈱ 前代表取締役社長 神永 晋氏	日本の経営思想と 公益資本主義	会社は公器であるとする日本の経営思想を 理解したうえで、公益資本主義を捉え直す
3	7月13日	アライアンス・フォーラム財団代 表理事 原 丈人氏	なぜ公益資本主義なのか	現在の市場経済の問題点とあるべき姿の理解 課題の本質といまやるべきこと
合 宿	7月16日 7月17日	熊平 美香氏、神永 晋氏、 原 丈人氏、加藤 洋氏	公益資本主義研修で学ぶ こと、考えること	公益資本主義の考え方を再確認し、 以降の経営者の話から学ぶポイントを理解 自分たちに何ができるか考える
4	7月27日	ロート製薬㈱ 代表取締役会長 山田 邦雄氏	人材の育成	企業を取り巻く環境の変化と必要な人材
5	8月10日	ヤマトホールディングス(株) 代表取締役会長 木川 眞氏	経営理念を行動で示す リーダーシップ	経営理念の浸透と実践に必要なリーダーシップ
6	8月24日	東レ㈱ 代表取締役社長 日覺 昭廣氏	研究開発とイノベーショ ン	長期経営戦略に基づく日本的経営による グローバルへの事業展開
7	9月7日	日本たばこ産業㈱ 代表取締役副社長 新貝 康司氏	グローバル企業の ガバナンスと人材	日本をベースとするグローバル企業の、 海外経営のガバナンスモデルと それを支える人材
8	9月21日	㈱ネクスト 代表取締役社長 井上 高志氏	ベンチャー企業	ベンチャーを立ち上げる動機、会社経営の情熱、 将来のグローバル展開の道筋
9	10月5日	アライアンス・フォーラム財団 執行役 加藤 洋	海外の企業文化と その中でのリーダーシップ	文化的背景が異なる人が混在するチームでの リーダーシップを考える
10	10月20日 (木曜日)	味の素㈱ CSR部 中尾 洋三氏	BOPビジネス/ソーシャル ビジネス	ガーナのプロジェクトを例にBOPビジネス、 ソーシャルビジネスの試み
11	11月2日	マンチェスター大学 教授 Stuart Ruthereford	マイクロファイナンス※	貧困者を対象とした金融サービスの 歴史と最新情報
12	11月16日	住友精密工業㈱ 前代表取締役社長 神永 晋氏	イノベーションが生み出 す 基幹産業	新たな基幹産業を生み出すイノベーション シーズの着眼とテクノロジー・マネージメント
13	11月18日 (終業式)	原 丈人氏、熊平 美香氏、 神永晋氏ほか	修了式 全体を通しての振り返り	研修で得たこと学んだことを共有し、 今後の自身の行動について考える 終了式

ワークショップ・ファシリテータ:熊平 美香氏 (一般財団法人クマヒラセキュリティ財団 代表理事)
※このセッションは英語で行われます(同時通訳があります)



アライアンス・フォーラム財団 代表理事

原 丈人氏

デフタ・パートナーズ グループ会長 内閣府本府 参与

1952年生まれ。81年スタンフォード大学工学修士取得。国連政府間機関特命全権大使(07-09)、米国共和党ビジネス・アドバイザー・カウンシル名誉共同議長(03-)、ザンビア大統領顧問(10-11)、日本国首相諮問機関の政府税制調査会特別委員(05-09)、財務省参与(05-10)を歴任
著書に『21世紀の国富論』(平凡社)、『新しい資本主義』(PHP新書)ほか

講師陣(50音順)



株式会社ネクスト社長

井上 高志氏

1968年生、青山学院大学経済学部卒。
リクルートコスモス、リクルートを経て独立。
1997年、株式会社ネクストを設立し、不動産情報サイト『HOME'S』を国内最大級の規模に育て上げる。
2011年からは『HOME'S』のグローバル展開にも着手している。



アライアンス・フォーラム財団執行役員

加藤 洋氏

早稲田大学理工学部大学院卒
日本IBMで製品開発、グローバル・ソリューション営業、サービス企画に従事
2012年よりアライアンス・フォーラム財団
公益資本主義研究部門



住友精密工業株式会社 前代表取締役社長

神永 晋氏

1969年東京大学工学部機械工学科卒業後、住友精密工業株式会社入社。2004年～2012年代表取締役社長、兵庫県立大学経営大学院客員教授、航空産業、マイクロ・ナノ技術分野において、研究開発・事業化・M&Aに関わる経験豊富、10年に及び英国・ドイツ滞在に加えて北米の大学・企業との関わりを通じた欧米要人との関係深く、内外の各種学会・協会・国際会議等で活動。アライアンス・フォーラム財団カウンシル・メンバー。デフタ・キャピタル社外取締役。



ヤマトホールディングス株式会社 代表取締役会長

木川 眞氏

1973年富士銀行入行。同行人事部長、みずほコーポレート銀行(現:みずほ銀行)常務取締役を経て、2005年にヤマト運輸入社。ヤマトグループのDNAを踏襲しながらも時代に合わせた施策を進め、2007年3月ヤマト運輸代表取締役社長。2011年4月ヤマトホールディングス代表取締役社長、2015年4月から現職。



三井不動産株式会社 取締役専務執行役員

北原 義一氏

昭和55年3月早稲田大学政治経済学部卒業。同年4月三井不動産株式会社入社。平成19年執行役員同部長、平成20年常務執行役員ビルディング本部副本部長、平成23年6月常務取締役常務執行役員ビルディング本部部長、平成25年4月取締役専務執行役員ビルディング本部部長を経て、平成28年4月より現職。



一般財団法人クマヒラセキュリティ財団 代表理事

熊平 美香氏

HBSにてMBA修了後、家業 熊平製作所の新規事業開発に従事。藤田商店にて、藤田田会長と共に新規事業を立ち上げた後、1997年に独立。エイテックマヒラ代表取締役就任。CCC社外取締役を経て、現在は、「戦略を実現する強力な組織」に必要な学習デザインを中心にコンサルティング・サービスを提供。青山学院大学大学院国際マネジメント研究科MBAでは、アントレプレナーシップとソーシャルアントレプレナーシップの講義を行う。



日本たばこ産業株式会社 代表取締役副社長

新貝 康司氏

1980年京都大学大学院工学研究科修士課程修了後、日本専売公社(現JT)へ入社。89年に渡米し、抗HIV薬Viraceptの開発等、米国新薬・バイオベンチャーとの数々の共同研究開発提携案件を推進。96年JT本社に戻り全社経営企画・財務戦略を担当後、取締役執行役員財務責任者を経て、JTI S.A.にて07年英国ギラハール社買収・統合を指揮。11年6月より現職。



味の素株式会社 CSR部

中尾 洋三氏

1981年味の素株式会社入社、国内営業、本社事業部門でマーケティングを担当
2003年本社経営企画部で中期経営計画とCSRを担当
2005年にCSR部を立ち上げる
2009年の100周年記念事業でガーナ栄養改善プロジェクトに
参画し現在に至る



東レ株式会社 代表取締役社長

日覺 昭廣氏

1949年生まれ。兵庫県出身。73年、東京大学大学院工学系研究科卒業、東レ入社。エンジニアリング部門長などをを経て、2002年取締役、04年常務取締役、06年専務取締役、07年副社長に就任10年6月より代表取締役社長を務める



ロート製薬株式会社 代表取締役会長 兼CEO

山田 邦雄氏

79年東京大学理学部物理学科卒業、90年慶應ビジネススクールMBA(経営学修士)取得、80年ロート製薬株式会社入社、91年同社取締役就任、96年同社代表取締役副社長就任、98年メソレータム社取締役会長就任、99年ロート製薬株式会社代表取締役社長就任、03年日本OTC医薬品協会会長・理事、09年ロート製薬株式会社代表取締役会長兼CEO就任、09年世界セルフメディケーション協会理事
アライアンス・フォーラム財団 評議員 兼カウンシルメンバー



マンチェスター大学教授

Stuart Rutherford氏

30年以上にわたり貧困者のファイナンスについて、実践と研究をしてこられたマイクロファイナンス研究の第一人者であるSafesave創設者、マイクロファイナンスのファンダメントである、「貧困層の家計、キャッシュフローの特徴」に関して、貧困ダイアリー(日記)を通じて研究して来た。

(株)ネクスト本社アクセスマップ



JR品川駅 港南口Gより徒歩3分

品川フロントビル3階

(株)ネクスト本社

問い合わせ先

TEL: 03-6225-2795

担当者:加藤 洋